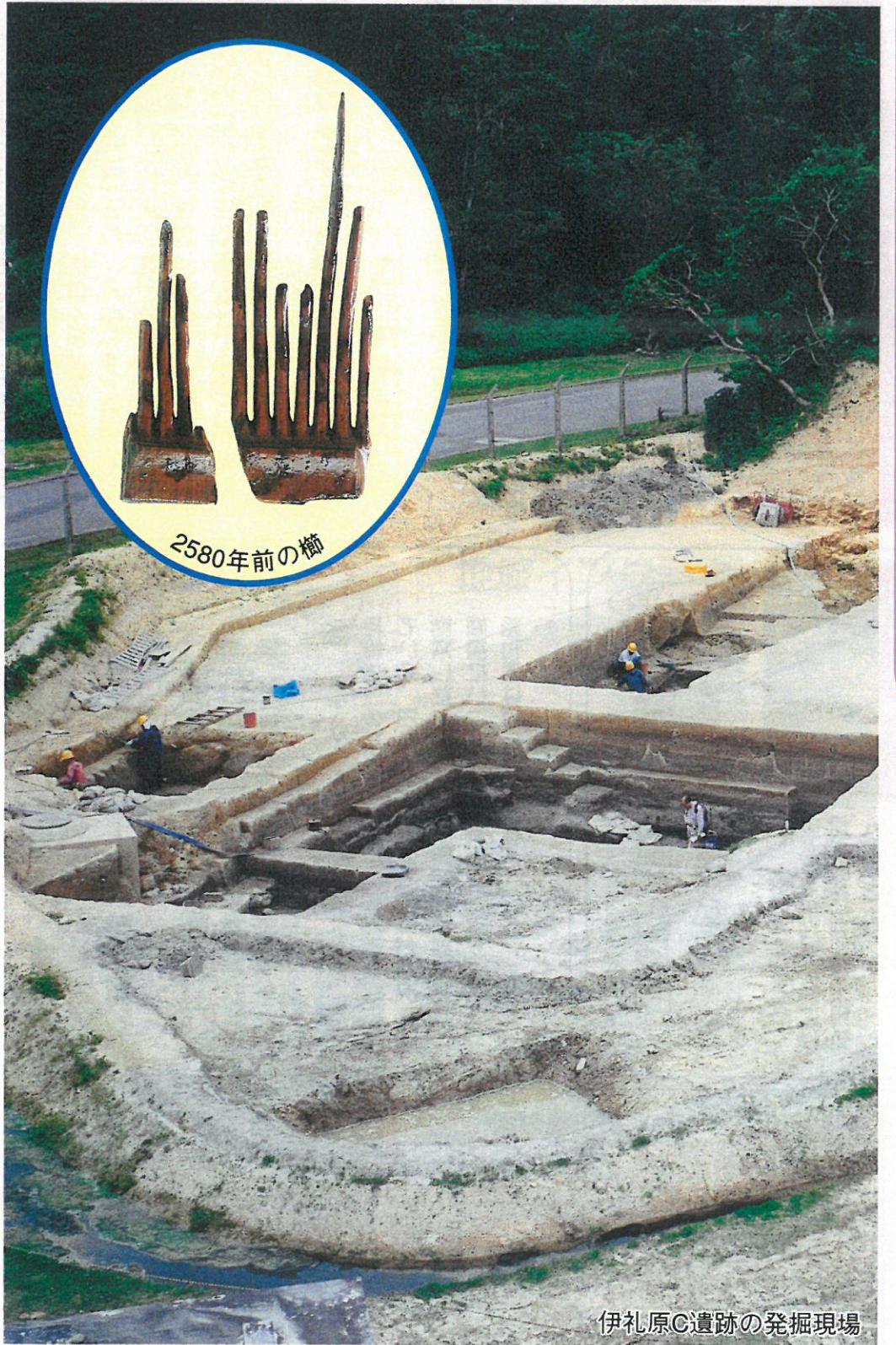




ちやたん町

ニライの都めざす
まち

議会だより



12月
論
意見書・陳情
P 4
補正予算を探る
P 2

24号
2000年12月議会
第2001年1月31日

経済工務委員会

一般会計

○建設課所管

道路占用手数料条例が施行され、沖縄電力、NTT沖縄ケーブルネットワーク等の電柱等から道路占用手数料の歳入があつた。道路建設事業として七路線の事業を実施した。

○経済振興課所管

トライアスロンの開催の在り方で選手五〇〇名、役員一二〇〇名のアンバランス等から大会の論議が交わされた。

○都市開発課所管

屋内運動場等使用料が減少した理由は、周辺駐車場整備工事のため大型興業がなかつたこと及び中日ドラゴンズ優勝のため秋のキャンプが行なわれなかつたことによる。

公共下水道特別会計

※収入である使用料については、米軍汚水の一部接続換え等により一五・三二%の増となつた。なお、嘉手納基地にかかる、北谷町・嘉手納町・沖縄市の下水道料金は平成十一年一月から五八〇万五三〇円の占用料歳入があつた。道路建設事業として七路線の事業を実施した。

改築された北谷小学校



改築された北谷小学校

本会議では

町税伸びる（対前年度比）

町税の決算額は前年度決算額に比較して一億八・五六〇万五千円の増。要因は個人納税義務者及び所得の増加と美浜・ハンビー地域の法人数増加と固定資産税（土地・家屋新築分）の増等。

経常収支比率減少、公債比率増

経常収支比率では一・七ボイント良くなつて七九・一%だがまだ高い。経費節減に更に努力する。公債比率は一七・九%と悪くなつた。繰上償還に伴う公債費の増加によるものであり、事業は学校のプール、屋内運動場、校舎の改築事業等が主である。今後、事業の選択等に配慮し取組む。

消防本部

Q、消防・救急応援協定活動状況は。
A、消防相互協約を締結している消防本部からの要請で出動、本町は沖縄市、宜野湾市、中城・北中城村、嘉手納町消防本部から救急関係で合計九回の応援を受けた。

一般会計

会計課

Q、パソコン購入、機種選定はどのように。
A、財政課が機種を統一して一括購入している。

Q、一時借入金九億円の借入方法と利息。
A、沖銀、琉銀、海銀、労金、コザ信金、五行で入札を行つた結果、○・三二九の利率で借入できた。

税務課

Q、町民税、固定資産税、軽自動車税の滞納繰越分の収入未済額が合計一億四千万円と高額となつて一括収取対策は。
A、電話での催促、催告書の発送、納税相談等を行なつて督促を促している。

文教厚生委員会

文教厚生委員会

総務課

Q、電子計算機の二〇〇〇年問題への対応は。
A、年末から年始にかけて職員とシステムエンジニアを行つての問題を解決した。

公文書館

Q、公文書館の実績とインターネット活用は。
A、歴史的資料として収集した行政文書の選別収集を行つて、町職員が行政執行上必要な行政文書の借覧、閲覧等が六百二十二件、来館は五百三三人、県の公文書館、町閲である。

企画課

Q、違約金及び延納利息一千八百八六万四九六円の収入未済額は。
A、株式会社ベルフランセとササンフィールムの両社、会社倒産の手続が取られ徵収が困難である。

議会事務局

Q、財政状況は。
A、経常収支比率は七九・一%で県内でも良い方にに入るが、経費削減をして七五%にしたい。公債比率は一七・九%と県内でもワースト一〇%に入つている。起債額を概ね五億円を目処に押さえないといふ後厳しい財政運営が予想される。

財政課

アを常駐させた。費用は全課にまたがつて約三百万円程費やした。

Q、財政状況は。
A、経常収支比率は七九・一%で県内でも良い方にに入るが、経費削減をして七五%にしたい。公債比率は一七・九%と県内でもワースト一〇%に入つている。起債額を概ね五億円を目処に押さえないといふ後厳しい財政運営が予想される。

論点

平成十一年度決算審査

町立小、中学校、節電努力の成果！

(6,733,915円節減)

町立小中学校では、クーラー使用等を控え、まめに電気を消す運動を展開し、節電に努力した。

- Q 国民年金の法定免除、申請免除の人数は。
A 法定免除255件、申請免除2,410名。無年金者は12月1日現在61名。将来232件の無年金者となる可能性がある。
- Q 南米4カ国調査を含む、町史の移民編の出版予定はあるか。
A 平成16年、17年あたりに出版予定。

老人保健特別会計



国民健康保険特別会計

歳入総額	一六億一、五三五万四、三五三円
歳出総額	一六億三、一一七万六、七五三円
差引残高	△五八二万二、四〇〇円

Q 現時点での収入未済額の徴収状況と、保険税滞納差し押さえの事例があるか。

A 一、九〇〇万円の収入未済額を解決した。

Q 徴収率は、どの程度か。

A 十一年度の徴収率は、九二・四二%である。

Q なぜ五八二万円余の赤字になつたか。老人医療の適正化についてはどうに考えていくか。
A 支払基金と国庫支出金からの歳入が、出納閉鎖までに収入できなかつた。十二年度末には歳入予定、決算上は赤字だが、充足している。健康づくりや、レセプト点検と訪問指導の強化を図り、環境保健課とタイアップして保健事業を進めていく。



街を照らす水銀灯

問 各自治会が所有している保安灯に関する事務委託について、具体的にどういった事か。

答 町陸上競技大会は、町体育協会と町との共催事業となつておらず、含まれている。町が行う行事等への協力に関する事に、町陸上競技大会も含まれている。

問 保安灯に関する事務委託について、具体的にどういう事か。

答 保安灯は各行政が自主的に設置、町に移管された場合物理的に把握が困難。蛍光灯から水銀灯へのグレードアップの要請が考えられ、財政的な対応を講ずる状況が懸念される。よって、基本的に自治会で行うことより効率的で、機能的であると考える。

問 交通安全及び防犯活動への協力や交通安全施設への提言。地域における安心、大会や安全指導員の動員へ安全を確保するための町との連携や交通安全週間、地域安全運動等における住民の連携や交通安全部門への協力。

答 交通安全及び防犯活動への協力や交通安全施設への提言。地域における安心、大会や安全指導員の動員へ安全を確保するための町との連携や交通安全週間、地域安全運動等における住民の連携や交通安全部門への協力。

問 宮城埋立国有地の民間業者による不法占拠についての県の対応への考え方と協議は？同地の墓地公園計画について進めていた。県や沖縄署との連携を取り、解決策を検討。平成元年に墓地公園事業の土地利用計画決定。墓地以外の優先度の高い計画が提案出来ない状況では変更はない。

答 総額は大きな変更はない。維持費の試算は二億一千円規定し、運営は財団を視野に入れるが今後調査研究していく。又、実施設計に当たつて各団体への説明会、アンケート、社会教育団体との視察研修をして市民の声を反映させた。

問 玉上地域の米軍施設の雨水処理改善対策について。

答 一箇所は那覇防衛施設局が調査実施中。他の箇所は、国の補助により、町で工事をして欲しいとのことで検討中。

問 宮城の無番地地域は廃車の山

答 具体的計画はまだないが町民の情報公開請求等を前提とせず、町自らの裁量による情報提供をする。

問 生涯学習センター建設費の総額・維持費・運営に変更があるか。又、町民の声はどう反映されてるか。建設は可能な限り町内業者の参入を図るべきだ。

答 新川墓地公園は、平成十五年度完成をメドに約二〇〇基を整備中。現状では、宮城・山川原地域は再度検討を要する。

答 創造性に富んだ文化風土をつくるため体制の強化が必要であり、人的配置も今後調査研究していく。

問 白比川の改修について

答 県との調整は、改修は自然を残す工法にすべきでない。

問 平成十三年度着工に向けて調整しており、自然や親水性水辺環境等に配慮し、協議していく。

答 情報公開及び個人情報保護制度審議会の十二月中の立ち上げを予定。憲法の基本的人権の知る権利を保



宮里友常 議員

1. 街灯保安灯について 2. 北谷町事務委託要綱について

問 街灯、保安灯の維持管理費は町の公共施設として、町が負担すべきだと思うが。

答 街灯、保安灯は各行政が自主的に設置、町に移管された場合物理的に把握が困難。蛍光灯から水銀灯へのグレードアップの要請が考えられ、財政的な対応を講ずる状況が懸念される。よって、基本的に自治会で行うことより効率的で、機能的であると考える。

問 保安灯の町移管についての陳情について、その後の対応処理は。

答 町移管は考えていない、老朽等による事故対応については保険加入等への助言をしている。

問 資源ゴミの分別作業（倉浜施設事務組合）

答 ゴミの減量化や資源の再利用等、問題に対する説明等を繰り返し行った結果、分別収集に町民の意識は高揚しつつある。回収作業員による指導助言、啓蒙活動を行っている。苦情が寄せられた場合は、現場に清掃指導員を派遣、回収できない理由と指導も行っている。対策に苦慮している現状で、塵芥車のチャイムに合わせて生ゴミを出すよう住民に協力をお願いしている。資源の再利用を図る観点から、分別収集を行つており問題はないと思う。

答 ゴミの減量化や資源の再利用等、問題に対する説明等を繰り返し行った結果、分別収集に町民の意識は高揚しつつある。回収作業員による指導助言、啓蒙活動を行っている。苦情が寄せられた場合は、現場に清掃指導員を派遣、回収できない理由と指導も行っている。対策に苦慮している現状で、塵芥車のチャイムに合わせて生ゴミを出すよう住民に協力をお願いしている。資源の再利用を図る観点から、分別収集を行つており問題はないと思う。

問 学校教育への環境（ゴミ）問題への生涯学習導入について。

答 ゴミの減量化を図るために、近隣周辺の補助率を勘案しながら、調査研究する必要があると認識している。生ゴミ処理機の補助金要綱が制定されており経費の一部を補助することにより、町民の自主的なゴミの減量化を活動促進する目的で実施している。額は容器購入費の二分の一以内。補助申請が二九四件、普及率は低い。

答 環境問題は、その重要性に鑑み、生涯学習の視点に立つて、総合的な学習の時間で充実発展を記すとともに、町教育委員会発行の副読本も充実を図る。

1. 街灯保安灯について 2. 北谷町事務委託要綱について

問 町道の街灯、保安灯等は一四六基で全部水銀灯である。

答 町保管の街灯等は一四六基で全部水銀灯である。

問 保安等は各行政区が設置、もしくは開発業者から譲渡を受け、各行政区の責任で管理されており自治会の財政的な対応が必要。町としては水銀灯に統一する事について、自治会への助言等は困難。

答 町道の街灯、保安灯等は一四六基で全部水銀灯である。

答 町道の街灯、保安灯等は一四六基で全部水銀灯である。

1. 街灯保安灯について 2. 北谷町事務委託要綱について

問 街灯、保安灯の維持管理費は町の公共施設として、町が負担すべきだと思うが。

答 街灯、保安灯は各行政が自主的に設置、町に移管された場合物理的に把握が困難。蛍光灯から水銀灯へのグレードアップの要請が考えられ、財政的な対応を講ずる状況が懸念される。よって、基本的に自治会で行うことより効率的で、機能的であると考える。

問 保安灯の町移管についての対応処理は。

答 町移管は考えていない、老朽等による事故対応については保険加入等への助言をしている。

問 資源ゴミの分別作業（倉浜施設事務組合）

答 ゴミの減量化や資源の再利用等、問題に対する説明等を繰り返し行った結果、分別収集に町民の意識は高揚しつつある。回収作業員による指導助言、啓蒙活動を行っている。苦情が寄せられた場合は、現場に清掃指導員を派遣、回収できない理由と指導も行っている。対策に苦慮している現状で、塵芥車のチャイムに合わせて生ゴミを出すよう住民に協力をお願いしている。資源の再利用を図る観点から、分別収集を行つており問題はないと思う。

答 ゴミの減量化や資源の再利用等、問題に対する説明等を繰り返し行った結果、分別収集に町民の意識は高揚しつつある。回収作業員による指導助言、啓蒙活動を行っている。苦情が寄せられた場合は、現場に清掃指導員を派遣、回収できない理由と指導も行っている。対策に苦慮している現状で、塵芥車のチャイムに合わせて生ゴミを出すよう住民に協力をお願いしている。資源の再利用を図る観点から、分別収集を行つており問題はないと思う。

1. 街灯保安灯について 2. 北谷町事務委託要綱について

問 街灯、保安灯の維持管理費は町の公共施設として、町が負担すべきだと思うが。

答 街灯、保安灯は各行政が自主的に設置、町に移管された場合物理的に把握が困難。蛍光灯から水銀灯へのグレードアップの要請が考えられ、財政的な対応を講ずる状況が懸念される。よって、基本的に自治会で行うことより効率的で、機能的であると考える。

問 保安灯の町移管についての対応処理は。

答 町移管は考えていない、老朽等による事故対応については保険加入等への助言をしている。

問 資源ゴミの分別作業（倉浜施設事務組合）

答 ゴミの減量化や資源の再利用等、問題に対する説明等を繰り返し行った結果、分別収集に町民の意識は高揚しつつある。回収作業員による指導助言、啓蒙活動を行っている。苦情が寄せられた場合は、現場に清掃指導員を派遣、回収できない理由と指導も行っている。対策に苦慮している現状で、塵芥車のチャイムに合わせて生ゴミを出すよう住民に協力をお願いしている。資源の再利用を図る観点から、分別収集を行つており問題はないと思う。

答 ゴミの減量化や資源の再利用等、問題に対する説明等を繰り返し行った結果、分別収集に町民の意識は高揚しつつある。回収作業員による指導助言、啓蒙活動を行っている。苦情が寄せられた場合は、現場に清掃指導員を派遣、回収できない理由と指導も行っている。対策に苦慮している現状で、塵芥車のチャイムに合わせて生ゴミを出すよう住民に協力をお願いしている。資源の再利用を図る観点から、分別収集を行つており問題はないと思う。

1. 街灯保安灯について 2. 北谷町事務委託要綱について

問 街灯、保安灯の維持管理費は町の公共施設として、町が負担すべきだと思うが。

答 街灯、保安灯は各行政が自主的に設置、町に移管された場合物理的に把握が困難。蛍光灯から水銀灯へのグレードアップの要請が考えられ、財政的な対応を講ずる状況が懸念される。よって、基本的に自治会で行うことより効率的で、機能的であると考える。

問 保安灯の町移管についての対応処理は。

答 町移管は考えていない、老朽等による事故対応については保険加入等への助言をしている。

問 資源ゴミの分別作業（倉浜施設事務組合）

答 ゴミの減量化や資源の再利用等、問題に対する説明等を繰り返し行った結果、分別収集に町民の意識は高揚しつつある。回収作業員による指導助言、啓蒙活動を行っている。苦情が寄せられた場合は、現場に清掃指導員を派遣、回収できない理由と指導も行っている。対策に苦慮している現状で、塵芥車のチャイムに合わせて生ゴミを出すよう住民に協力をお願いしている。資源の再利用を図る観点から、分別収集を行つており問題はないと思う。

答 ゴミの減量化や資源の再利用等、問題に対する説明等を繰り返し行った結果、分別収集に町民の意識は高揚しつつある。回収作業員による指導助言、啓蒙活動を行っている。苦情が寄せられた場合は、現場に清掃指導員を派遣、回収できない理由と指導も行っている。対策に苦慮している現状で、塵芥車のチャイムに合わせて生ゴミを出すよう住民に協力をお願いしている。資源の再利用を図る観点から、分別収集を行つており問題はないと思う。

1. 街灯保安灯について 2. 北谷町事務委託要綱について

問 街灯、保安灯の維持管理費は町の公共施設として、町が負担すべきだと思うが。

答 街灯、保安灯は各行政が自主的に設置、町に移管された場合物理的に把握が困難。蛍光灯から水銀灯へのグレードアップの要請が考えられ、財政的な対応を講ずる状況が懸念される。よって、基本的に自治会で行うことより効率的で、機能的であると考える。

問 保安灯の町移管についての対応処理は。

答 町移管は考えていない、老朽等による事故対応については保険加入等への助言をしている。

問 資源ゴミの分別作業（倉浜施設事務組合）

答 ゴミの減量化や資源の再利用等、問題に対する説明等を繰り返し行った結果、分別収集に町民の意識は高揚しつつある。回収作業員による指導助言、啓蒙活動を行っている。苦情が寄せられた場合は、現場に清掃指導員を派遣、回収できない理由と指導も行っている。対策に苦慮している現状で、塵芥車のチャイムに合わせて生ゴミを出すよう住民に協力をお願いしている。資源の再利用を図る観点から、分別収集を行つており問題はないと思う。

答 ゴミの減量化や資源の再利用等、問題に対する説明等を繰り返し行った結果、分別収集に町民の意識は高揚しつつある。回収作業員による指導助言、啓蒙活動を行っている。苦情が寄せられた場合は、現場に清掃指導員を派遣、回収できない理由と指導も行っている。対策に苦慮している現状で、塵芥車のチャイムに合わせて生ゴミを出すよう住民に協力をお願いしている。資源の再利用を図る観点から、分別収集を行つており問題はないと思う。

1. 街灯保安灯について 2. 北谷町事務委託要綱について

問 街灯、保安灯の維持管理費は町の公共施設として、町が負担すべきだと思うが。

答 街灯、保安灯は各行政が自主的に設置、町に移管された場合物理的に把握が困難。蛍光灯から水銀灯へのグレードアップの要請が考えられ、財政的な対応を講ずる状況が懸念される。よって、基本的に自治会で行うことより効率的で、機能的であると考える。

問 保安灯の町移管についての対応処理は。

答 町移管は考えていない、老朽等による事故対応については保険加入等への助言をしている。

問 資源ゴミの分別作業（倉浜施設事務組合）

答 ゴミの減量化や資源の再利用等、問題に対する説明等を繰り返し行った結果、分別収集に町民の意識は高揚しつつある。回収作業員による指導助言、啓蒙活動を行っている。苦情が寄せられた場合は、現場に清掃指導員を派遣、回収できない理由と指導も行っている。対策に苦慮している現状で、塵芥車のチャイムに合わせて生ゴミを出すよう住民に協力をお願いしている。資源の再利用を図る観点から、分別収集を行つており問題はないと思う。

答 ゴミの減量化や資源の再利用等、問題に対する説明等を繰り返し行った結果、分別収集に町民の意識は高揚しつつある。回収作業員による指導助言、啓蒙活動を行っている。苦情が寄せられた場合は、現場に清掃指導員を派遣、回収できない理由と指導も行っている。対策に苦慮している現状で、塵芥車のチャイムに合わせて生ゴミを出すよう住民に協力をお願いしている。資源の再利用を図る観点から、分別収集を行つており問題はないと思う。

1. 街灯保安灯について 2. 北谷町事務委託要綱について

問 街灯、保安灯の維持管理費は町の公共施設として、町が負担すべきだと思うが。

答 街灯、保安灯は各行政が自主的に設置、町に移管された場合物理的に把握が困難。蛍光灯から水銀灯へのグレードアップの要請が考えられ、財政的な対応を講ずる状況が懸念される。よって、基本的に自治会で行うことより効率的で、機能的であると考える。

問 保安灯の町移管についての対応処理

一般質問



企業誘致が進むアメリカンビレッジ

問 町職員の代休が与えられる行事は、何人動員されたか。陸上競技会の法的根拠は。

答 町職員の代休が与えられる行事は、何人動員されたか。陸上競技会の法的根拠は。



公民館機能強化が望まれる桑江地区体育館

問 島袋前町長三期の職員採用は何人か。

答 町内百十九名、町外十一名。



桑江16号線整備地域

問 消防本部の緊急時の採用は何人か。

答 辺土名町長六年間の採用は何人か。

問 消防の三町村、嘉手納、読谷、北谷の合併について。沖縄市消防とがよいのでは。

答 単独の消防本部においては施設や装備、組織力等において財政上大変厳しい。一部事務組合化を維持し、消防行政の強化を図る。沖縄市との消防合併は、すでに体制が確立され広域化の話はない。

問 同支援センターの中の建設位置としては選定

答 コミュニティーエフエムは、本年八月に内定通知を行つた。人材育成の企業は二グループと協議中。

問 本町は独自の政策として行政と地域住民との情報ネット化を考えているか。

答 健康相談センター等の公共施設小・中学校のネットワークを形成し、インターネットの利用を促進していく。

問 ハブ条例制定後の町民への啓発活動は。

答 九月の議会だよりやパンフレット等で周知徹底されているものと認識。ハブ生息地の阻止、開発事業者やハブ飼育者の義務や町民の義務説明を進めている。

問 ハブ条例制定後の町民への啓發活動は。

答 経営自立とその振興を図ることを目的とする北谷町小口資金融資制度や、県の融資制度等の面から支援していく。



大嶺 勇 議員

1. 三井物産の総合監修業務について
2. 町職員の給与について
3. 土、日、祭日に行われる町主催の行事やイベントに役場職員が動員された場合に認められている有給休暇とは別に後日代休が与えられていることについて。
4. 職員の採用について
5. 北谷町消防本部の緊急時の地図検索システムの現状について
6. 消防の三町村の合併について

問 三井物産の紹介で誘致された企業は何か。

答 直接的に企業誘致活動としての助言はどこで行ったか。口頭か文書か、報告書の作成は。

問 契約の立合、監修業務としての助言はどこで行ったか。口頭か文書か、報告書の作成は。

答 契約立合は開発本部事業推進室、営業推進チームリーダーが庁舎で行う。総合監修業務については報告書で提出されている。最終的な報告書はホテル事業が開業後検討している。

問 町職員の給与について。

答 一五年以上三十年未満は四一万四百円、三十年から三五年は四三万八百円、三五年以上は四四万九千四百円。勤務三年五年的場合、年間支給額は七百四十八万三千五百円で県、沖縄市、嘉手納町より低額となつている。又、過去五年間の三十一年以上勤務者の退職金の平均支給額は平均三七年六ヶ月で二千六百九十万円である。退職金の算定は退職の日ににおける給与月額を基礎に所定の支給率を掛ける。



瑞慶覧朝義 議員

1. 役場へのアクセス道路建設目処について
2. 生涯学習支援センターの自然エネルギーの活用について
3. 桑江区地区館について
4. 本町の地域情報システムの基本的な考え方について

問 桑江中央線の進捗状況を伺いたい。

答 関係全地権者と筆界確定にかかる合意が得られ、道路整備の協力も得ることが出来たので、筆界確定業務を取り組んでいきたい。

問 桑江十六号線の進捗状況を伺いたい。

答 今年度は用地取得で四十二%の事業進捗を予定。次年度より工事可能な箇所は排水路工事等、道路整備工事を順次実施したい。

問 桑江中央線の進捗状況は予定どおり進行している

答 国道との接続交差は平面が望ましいと思うがその方法は可能か。

問 二十四号線バイパスと国道との接続交差は平面が望ましいと思うがその方法は可能か。

答 平面交差で協議、調査に応じる姿勢で進めている。

問 二十四号線バイパスと江中央線、見嘉作奈留川線との取付けは平面交差になるか。

答 右折車線を二車線として平面交差で協議、調査に応じる姿勢で進めている。

問 桑江十六号線の進捗状況と今後の計画は。

答 用地取得事業において約一千二八平方メートルの取得済み、今年度は約四百三十三平方米を計画。平成十三年度事業計画で用地取得の済んでいる箇所については、排水整備計画及び一部道路計画を行っていく。

問 桑江十六号線の進捗状況と今後の計画は。

答 当該用地を処分し政策事業用資産に振り返るといつた認識で、普通財産の効率的活用を図っていく。

問 利用計画のない普通財産について、隣接地への売却、一般公募による売却を推進し歳入の確保を図つてはどうか。

1. 町所有地処分について
2. 役場への道路について
3. 生涯学習支援センターについて
4. 国体道路沿いの商工業等について
5. ハブ条例について



阿波根 弘 議員

問 生涯学習支援センターの用地取得事業において約一千二八平方メートルの取得済み、今年度は約四百三十三平方米を計画。平成十三年度事業計画で用地取得の済んでいる箇所については、排水整備計画及び一部道路計画を行っていく。

問 生涯学習支援センターの用地取得事業において約一千二八平方メートルの取得済み、今年度は約四百三十三平方米を計画。平成十三年度事業計画で用地取得の済んでいる箇所については、排水整備計画及び一部道路計画を行っていく。

問 生涯学習支援センターの用地取得事業において約一千二八平方メートルの取得済み、今年度は約四百三十三平方米を計画。平成十三年度事業計画で用地取得の済んでいる箇所については、排水整備計画及び一部道路計画を行っていく。

一般質問



年間維持管理は…

問 アメリカンビレッジ地
域への総事業費は。

答 平成十一年度までの決
算では、四二の事業で十億七
千四百二十四万二千六十円。



安里順一 議員

1. 美浜タウンリゾート地域の町財政への効果 並びにインフラ整備の投資額について 2. 商店街の空洞化現象と地域バランスのとれた 街づくりについて 3. 役場へのアクセス道路の進捗状況について

問 公共駐車場、風力発電
等の年間施設維持管理費は。
又、当該地域の固定資産税、
法人町民税等の歳入は。

答 駐車場の年間維持管理

問 国体道路周辺地域及び
西海岸地域以外の商店街の空
洞化現象をどう認識している
か。

答 三本のアクセス道路を
予定しており、保険相談セン
ターからの道路は基地内道
路の共同使用で条件整備中
同様。

答 新庁舎での業務開始し
て二年が経過した。役場への
アクセス道路の進捗状況を
伺う。

答 三本のアクセス道路を
予定しており、保険相談セン
ターからの道路は基地内道
路の共同使用で条件整備中
同様。



心ない人の不法投棄車輛

答 医療費の抑制を図るために
は、返還後実施予定。

問 ハリ、炎、アンマ等の
補助金を一回八百円から千
円に増額する考えはないか。

答 医療費の抑制を図るために
は、返還後実施予定。

蒙啓発活動について窓口等
で、十分に説明をしている。

問 高規格救急車の活用状
況について以前より住民サ
ーク課については十二年度以
降の事業に関しても強く要
請をしている。

答 今までの搬送主体の救
急から傷病者のケアと症例
によって医師の指示の下、
高度な救急業務の提供が出
来るようになつたものと考
えている。すべての救急出
動に救命士を配置すること
は人數的に厳しいが現在四
名の救命士を七名に増員し
全症例に救命士を配置した
い。また医者との信頼関係

問 宮城海岸の高潮対策の
件は関係機関にどのように
働きかけをしたか。

答 護岸を維持管理してい
る中部土木事務所と対策方
について協議を重ねている。
これまでの砂辺海岸の環境
整備事業に引き続き、今年
度事業も宮城海岸北側部分
の整備も着手している。河
川課については十二年度以
降の事業に向上了か、運用
サービスは向上したか、運用
体制の問題点、改善面は。

問 住民票の発行、印鑑証
明の発行を平成十三年度中
に実施したいと考えている。
実施は考えてないか。

答 社会福祉協議会は昭和
五十三年設立以来、地域福
祉の推進役としての諸々の
福祉サービスを推進し、住
民福祉に多大に貢献し、現
在に至つては、事務所整
備は急を用ることと認識
している、本町関係課との
協議、そして国関係との補
助協議、周辺地権者等への
打診、社協との事務所整備
計画の調整を行つてある。

問 宮城児童館前交差点の
信号機設置について関係機
関との取り組みは。

答 沖縄署を始め関係機
関との取り組みは。

問 沖縄署で設置できるよう要
請を行う、すでに非公式で
はあるが担当者へ要請を行
つてきている。

答 沖縄署で設置できるよう要
請を行う、すでに非公式で
はあるが担当者へ要請を行
つてきている。

問 本町における、名木
定作業はどうなっているか。

答 平成六年十一月に樹木
等を保存する必要があると
の提言を受け、内部での検
討を行い調査を実施する事
となり、平成七年度に經
振興課の職員による現場調
査を実施。平成八年から九
年度に学識経験者による現
場調査で、七十一本二十二
樹種の聞き取り調査で樹木
名、形態及び樹性等につい
てのカルテを作成。平成十
一年度に北谷町保木、名木、
大木の樹木カルテとして、
調査の内容を明記した冊子
の印刷原本を作成。平成十
二年度中に印刷製本を行い、
公共施設や学校の教材用と
して配布する。基地内の調

問 二路線の町道について
は、七月の沖縄サミット開
催に向け環境改善対策とし
て、沖縄警察署とタイアッ
プして撤去を行い、道路の
機能確保を行つた。また、
沖縄署と協議をし移動勸告
や悪質なものには廃棄物処
理法違反で検挙等の対策に
も力を入れている。町とし
ては、関連機関との連携を
強め地域の協力を得ながら、
対策を検討していく。

5. 4. 3. 2. 1. 宮城海岸の高潮対策について 高規格救急自動車活用状況について 昼休み時間の窓口業務実施について 社会福祉協議会事務局整備の進捗状況について 宮城児童館前交差点の信号機設置について



洲鎌長榮 議員



宮城海岸の高潮の傷跡

1. 不法投棄車輛、放置車輛等の早期撤去について 2. 北谷町名木指定について 3. ハリ、炎、アンマ等の補助額の増額について



宮平昌信 議員

問 砂辺地域の不法投棄車
輛や放置車輛等の早期撤去
を求める。

答 二路線の町道について
は、七月の沖縄サミット開
催に向け環境改善対策とし
て、沖縄警察署とタイアッ
プして撤去を行い、道路の
機能確保を行つた。また、
沖縄署と協議をし移動勸告
や悪質なものには廃棄物処
理法違反で検挙等の対策に
も力を入れている。町とし
ては、関連機関との連携を
強め地域の協力を得ながら、
対策を検討していく。

意見書
可決

「地震防災対策特別措置法」 の改正に関する意見書

地震防災上緊急に整備すべき施設等の整備を強力に推進することにより、地域住民の生命と財産の安全確保をお一層求めていく必要があります。

国は、「地震防災対策特別措置法」に基づく地震防災緊急事業の拡充・強化を図ると共に、国の負担又は補助の特別措置が次期の地震防災緊急事業5カ年計画にも適用されるよう特段の配慮を要望する。



陳情
採択

「精神障害者の福祉施策充実」 に関する要望書

沖縄県精神障害者福祉連合会の陳情趣旨説明によります。身体障害者や知的障害者への施策と比べると精神障害者の施策は遅れが多く、今回の法改正の施策が速やかに実施されることを望むとして、①ホームヘルプサービス、②家族会育成相談援助事業、③市町村障害者社会参加促進事業、④手帳サービス、⑤欠格条項撤廃、⑥社会復帰施設やグループホーム、小規模作業所に関することなど全国的な比較でも沖縄が立ち遅れているところに絞って要望しています。

港地域住民に
朗報!
町道の路線を認定

平成十二年五月三十日に北谷町漁業協同組合から無償で譲渡を受けた、宮城区港地内の非舗装道路で地域住民より以前から該道路の整備の要請がなされていたが、町の所有でないため整備がされない状況がありました。譲渡を機に認定、平成十三年で整備し、町の便宜を図ります。

見聞学で更なる努力を!

広報特別委員会県外研修

10月31日から11月2日までの2泊3日の日程で議会広報の先進的な活動を行っている嬉野町、杷木町議会での研修する機会を得ました。

佐賀県・嬉野町議会だより「うれしの」・福岡県・杷木町議会だより「HAKI」は全国町村議会広報コンクールの上位入賞の常連でありその功績は高く評価されています。これらの優れた広報に携わるスタッフと直に意見交換できたことは、私たち広報委員として学ぶべき事が多く、この研修成果を生かすべく体制を整えていくことによって「北谷町議会だより」の充実発展に大きな影響を与えるものと考えます。視野を広めると共に知識を得る意義深い研修でした。



杷木町議会広報委員の皆様より日本の技を

議案審議に反映を確信!

オーストラリア視察研修団

本町西海岸地域において町が進めているフィッシュチャーナ建設事業等の議案審議等に反映していくため、ウォーターフロントの先進地であるオーストラリアに関連施設の行政視察を行いました。期間は平成12年11月14日(火)から11月20日(月)までの7日間で、今回の視察団は昨年の視察研修参加者を除く議員で構成され、本視察により2年度にわたるオーストラリア研修を終えました。

視察団は当初の目的が達成できるものと確信を深めており、以下に感想の一部をまとめて紹介致します。



○フィッシュマーケット(シドニー)
漁港に隣接したこの鮮魚市場には何百種類もの海産物があり、販売はもちろん加工・料理までしてくれる。屋外にはパラソルつきのウッドテーブルが配置されており、そこで魚料理を食べながら雑談を楽しんでいる。地元の客で終日活気がある。本町でも参考になる。



○マリーナ・ミラージュ(ゴールドコースト)
多数のヨットが停泊。ブティック・レストランやカフェテラスがあり、憩いの場になっている。



○サンクチュアリー・コープ(シドニー)
マリーナは係留施設、電気水道等のサービス施設が整備されている。自然を残しナチュラルに造られ、スケールが大きい。沖縄においても若者の間に様々な海洋レジャーが普及している。学ぶべきことは大きい。



研修団（要務）
鹿児島県曾於郡末吉町議会（議会運営）
三重県三重郡菰野町議会（町庁舎施設及び設備）
山口県吉敷郡阿知須町議会（北谷町公共施設管理公社）
城辺町議会（議会事務局コンピュータ関係）
鹿児島県有明町議会（議会運営）
茨城県鹿児島郡村議会議長会（風力発電）
大阪市会（計画消防委員会）（まちづくり）
鹿児島県揖宿郡頴娃町議会（議会運営・議会報）
石川県松任市議会（CCZ・アメリカンビレッジ）
宮城県白石市議会（公園）
神奈川県足柄上郡山北町議会（CCZ・まちづくり）
三重県議会（アメリカンビレッジ）
群馬県邑楽郡大泉町議会（議会活性化）
佐賀県東松浦郡議長会（議会運営・基地）
山梨県市川大門町議会（議会活性化）
大分県蒲江町議会運営委員会（議会運営）
大阪岬町議会（議会活性化）
福岡県三井郡町議会（議会運営）
大分県佐賀町（議会運営）
北海道幌延町議会（議会活性化）
千葉県印藩郡副議長会（風力発電）
神奈川県相模原市議会（基地返還跡地利用計画）
福島県相馬郡鹿島町議会（議会運営）
新潟県中蒲原郡松村町議会（議会運営）
青森県今別町議会（議会運営）
岡山県久米町議会（議会報）
熊本県球磨郡多良木町議会（議会運営）
熊本県菊池郡町村議会議長会（議会運営）
福島県棚倉町議会（議会活性化）
宮城県大崎地方町村議会議長会（議会活性化）

全国的に注目！トピック

訪問者

研修や視察のために全国各地から来庁 平成12年4月から12月までに訪問された団体です。

表紙説明

広報委員紹介

伊礼原C遺跡は、平成十三年度に返還予定のキャンプ桑江北側地区にあります。同遺跡は平成七年から九年度にかけて行われた試掘調査で発見されました。遺跡より東側尾根には「ウチヌカ」という湧水があり、「ナガサ川」と「徳川」が遺跡の北西側まで迫り、「ウチヌカ」と合流しています。同遺跡は標高五・七メートルに位置しています。その遺跡より出土した櫛は、測定の結果、約二五八〇年前のものといわれています。



議会に関する情報を住民の立場に立って的確に、正しく、速く、読みやすく、わかり易い広報誌をつくるよう奮闘しています。そして、更なる努力を重ねていきますので皆様からの叱咤をお願い致します。

編集後記

▼ 新年あけましておめでとうございます。

町議会は、一月五日に議場開きを行いました。二十一世紀の新たなスタートの年を全議員やる気満々のよう

です。広報委員六名も今年は議会広報全国コンクール最優秀賞を目指し、又、議会と町民とのパイプ役として「議会だより」のより読みやすい紙面づくりに日々精進してまいります。

▼ 今回で折り返しの時期です。六名の委員が知恵を出し合い、団結し議会だより「四号」をお届けしたいと思います。町民のみなさま、本年もよろしくお願ひいたします。

(阿波根弘)

議会広報委員会	
委員長	稻嶺盛仁
副委員長	亀谷長久
委員	大浜やす子
委員	阿波根弘
委員	洲鎌長榮
仲村光徳	